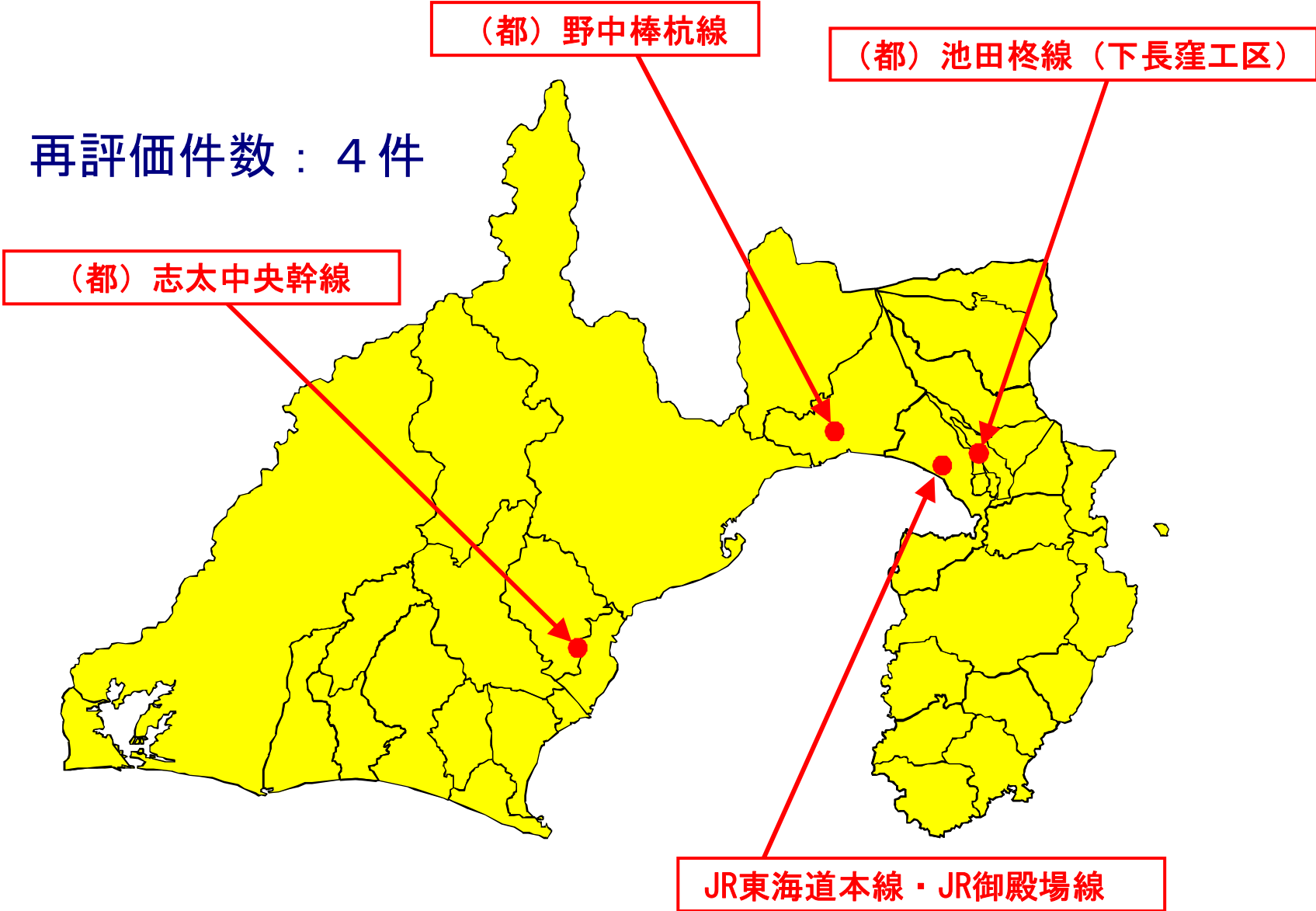


都市局 再評価実施箇所 位置図

再評価件数：4件



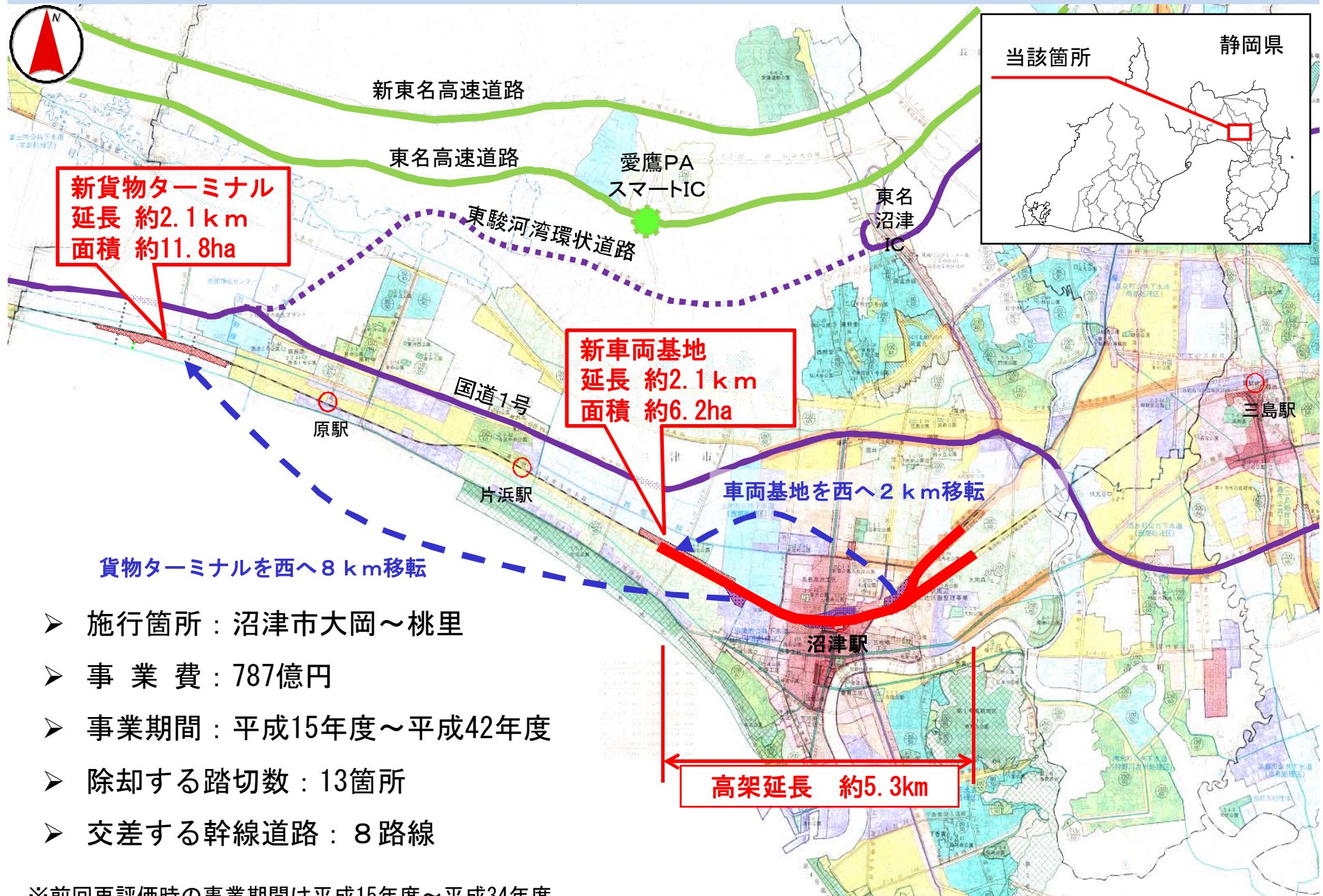
平成28年度

JR東海道本線・JR御殿場線

事業再評価

静岡県 交通基盤部 都市局 街路整備課

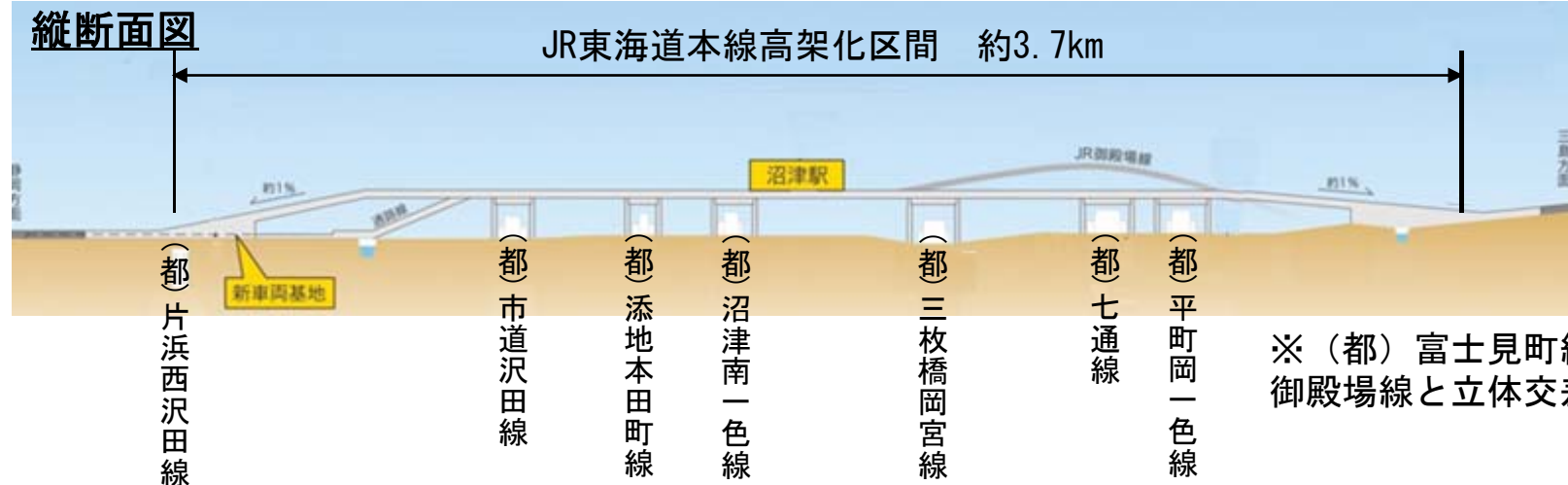
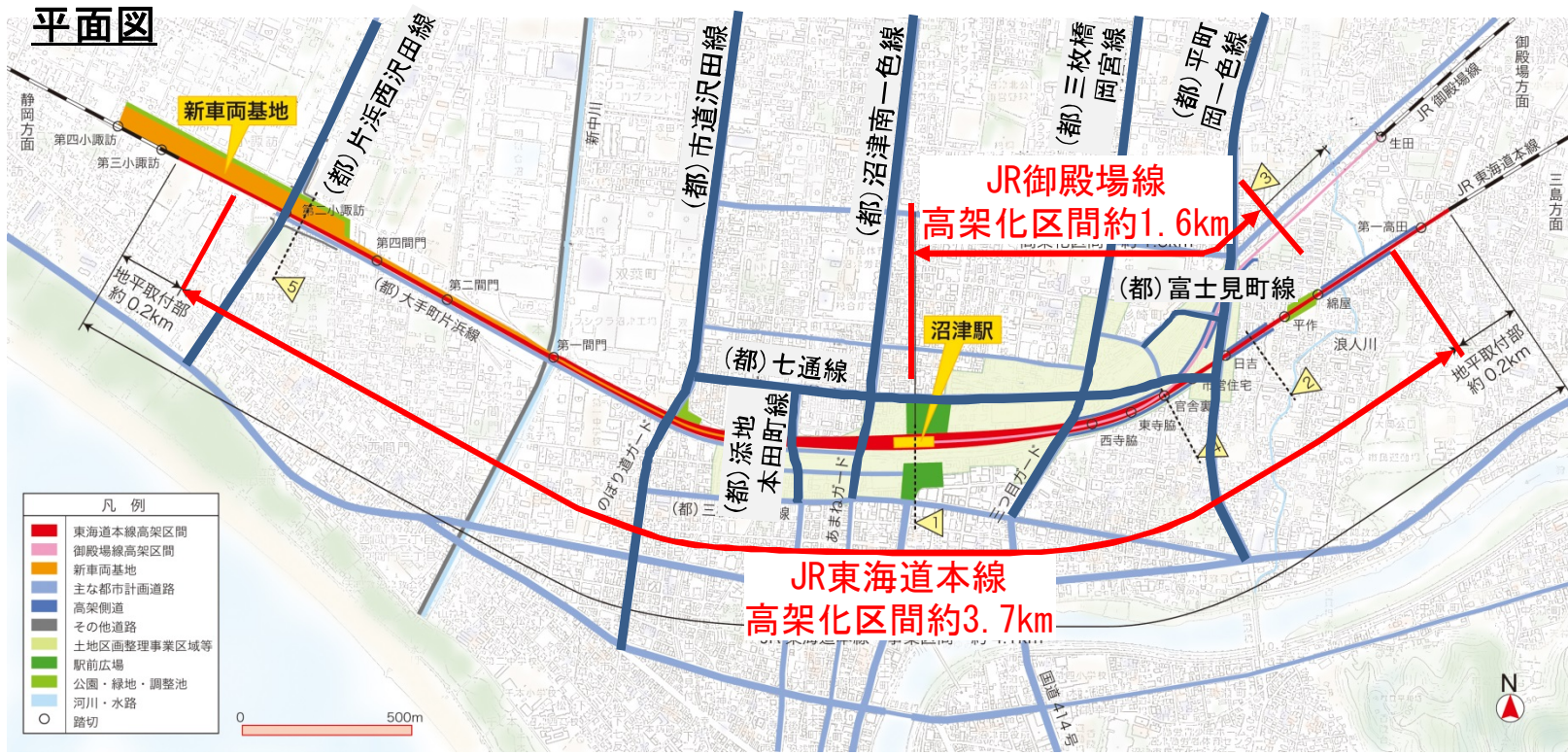
事業概要



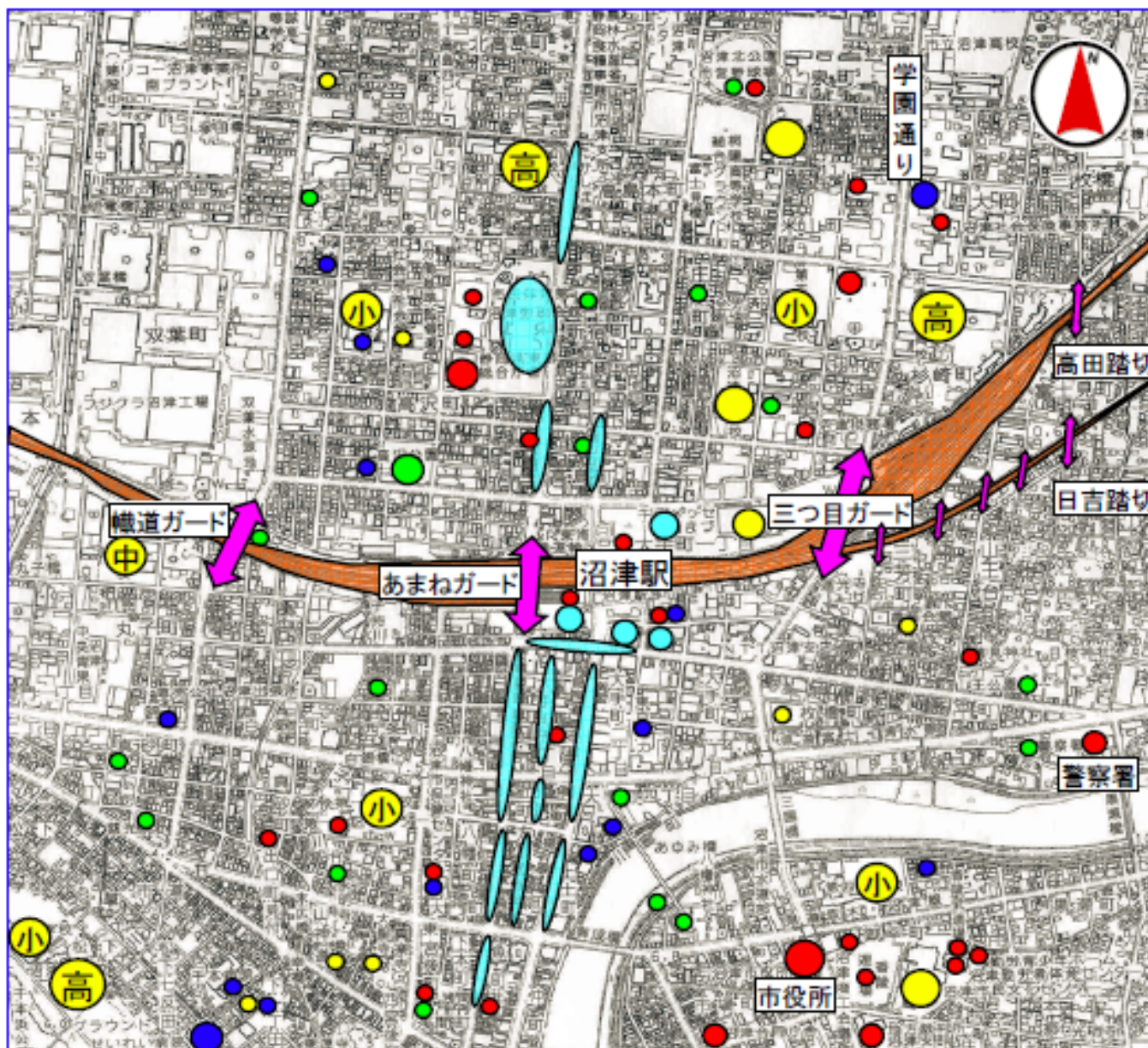
- 施行箇所：沼津市大岡～桃里
- 事業費：787億円
- 事業期間：平成15年度～平成42年度
- 除却する踏切数：13箇所
- 交差する幹線道路：8路線

※前回再評価時の事業期間は平成15年度～平成34年度

平面図・縦断面図



中心市街地の状況①



- 凡例
- ↔ 鉄道横断可能箇所
 - 医療・福祉施設
 - 公園・緑地等
 - 公共・公益施設
 - 教育・文化施設
 - ショッピングセンター
 - 商店街

中心市街地の状況②

交通渋滞



高さ制限による事故 (平成27年度には3回)



自転車通行不可



冠水 (平成22年度から10回)



急カーブによる交通事故



沼津駅周辺総合整備事業の概要①

沼津市中心市街地の現状

- 交通混雑
- 南北市街地分断
- 自転車・歩行者動線不足
- 中心市街地の低迷

沼津駅周辺総合整備事業

土地区画整理事業

駅北拠点開発事業

街路整備事業(鉄道高架)

市街地再開発事業

特定再開発事業

関連道路整備事業

交通の円滑化

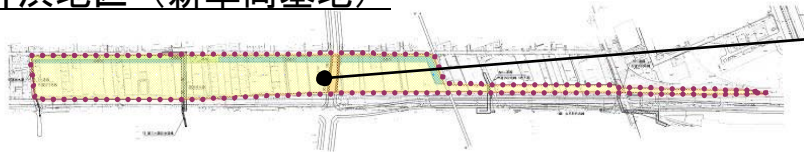
土地の有効利用

にぎわいの創出

にぎわいと活力のある県東部拠点都市の創出

沼津駅周辺総合整備事業の概要②

片浜地区（新車両基地）



沼津駅周辺地区



平成18年4月Bivi沼津開館



平成26年7月プラサヴェルデ開館

静岡東部拠点第一地区
土地区画整理事業



静岡東部拠点第一地区

駅北拠点開発事業

街路整備事業（鉄道高架）

市街地再開発事業

沼津駅南第二地区
区画整理事業

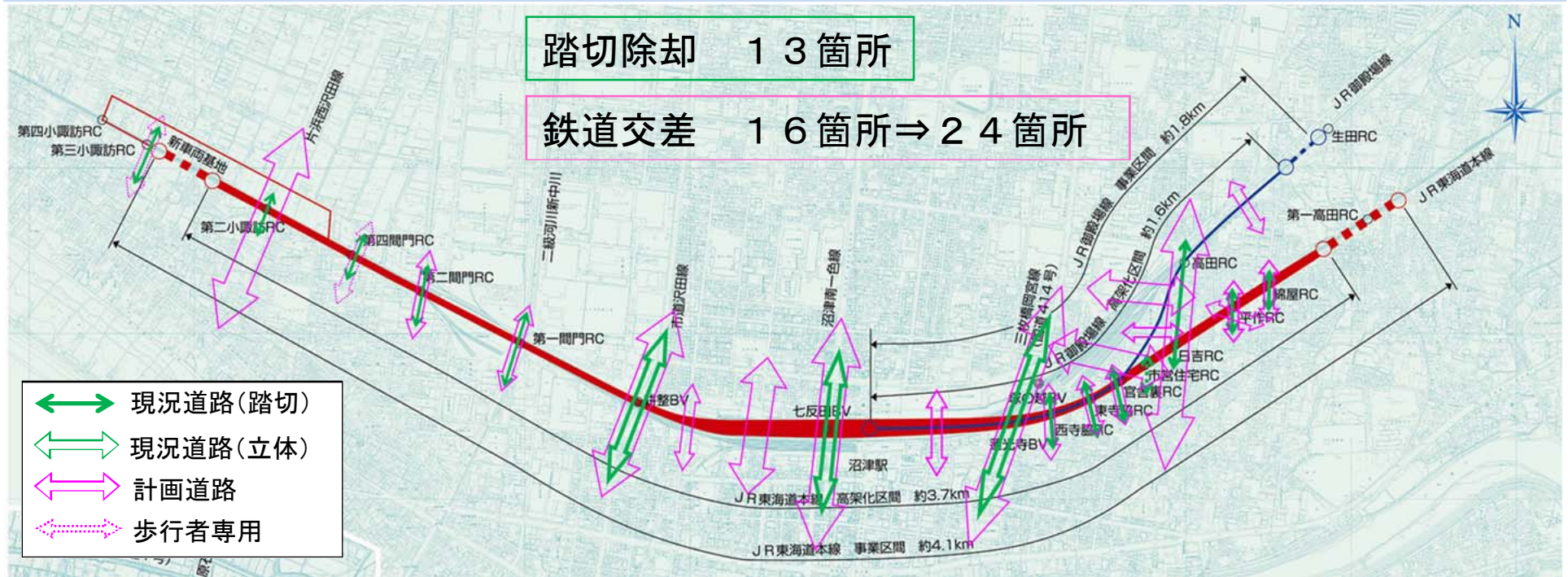
沼津駅南第一地区
土地区画整理事業



平成20年3月イーラde開館



事業効果① 交通の円滑化



事業効果② 土地の有効利用



図書館



市役所



住宅・店舗



医療施設

※配置された施設や建物はイメージです

事業効果③ 賑わいの創出



高架下



コンコース



駅前広場



高架下

※配置された施設や建物はイメージです

事業の投資効果

費用便益比：B / C = 1.24 (1.50)

<u>総便益（B）の現在価値</u>	998.93億円	(1,194.2億円)
移動時間短縮便益	920.71億円	(1,102.5億円)
走行経費減少便益	53.27億円	(62.8億円)
交通事故減少便益	24.96億円	(29.0億円)
<u>総費用（C）の現在価値</u>	801.94億円	(795.8億円)
建設投資額	805.84億円	(799.9億円)
維持管理費	1.07億円	(1.4億円)
用地残存価値	-4.97億円	(-5.6億円)

- ・ ()はH23再評価結果
- ・ 総便益及び総費用の合計は、表示桁数の関係により計算値と一致しない

事業の進捗状況①

- 事業進捗率は約4%（事業費ベース）で用地買収を実施中
- 新車両基地予定地の用地取得率は、約99%
- 新貨物ターミナル予定地の用地取得率は、約76%
- 高架区間の用地取得率は、約96%
（区画整理事業で取得予定の用地を含む）
- 鉄道事業者とは、用地取得後に速やかに工事着手するための協議や設計を実施中

事業の進捗状況②

H22. 9～H23. 6 沼津駅付近鉄道高架事業に関する有識者会議



有識者会議の状況①



有識者会議の状況②



有識者会議の状況③



知事へ報告書の手交

事業の進捗状況③-1

H23. 11~H25. 11

沼津高架PIプロジェクト



オープンハウス



車座談義



勉強会（ワークショップ）



知事へ報告書等の手交

事業の進捗状況③-2

沼津高架PIプロジェクト勉強会における共通認識

- 何も決まらない状態は最も避けるべき
- 現状のまま放置するのではなく、地域づくりを早急に進めるべき
- 財政へ配慮し、効率的な事業とすべき
- 沼津市とともに今後とも市民参加による地域づくりを進めるべき

今後のスケジュール（案）

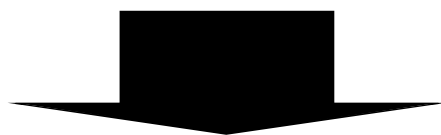
	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	～	H42	H43
用地補償	→										
新貨物ターミナル整備		→									
新車両基地整備			→								
高架本体整備					→						

供用開始予定

対応方針（案）

沼津駅周辺総合整備事業の「核」となる事業

- ・ 交通の円滑化
- ・ 土地の有効利用
- ・ 防災性の向上
- ・ 賑わいの創出



事業を継続し早期完成を図る